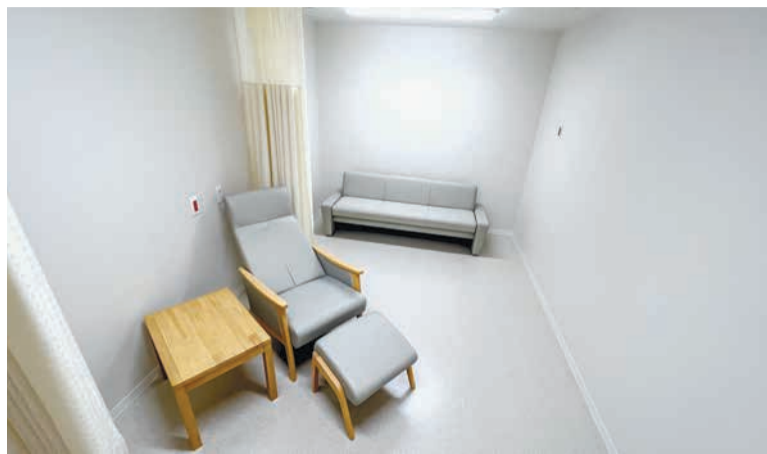


2号館10階に新たな教育施設を整備

総合力のある医療人の育成環境を実現



スタジオ



女性専用休憩室



ラウンジ



第2クリニカルシミュレーションラボ



サテライトファーマシーを模した実習室

2023年4月、2号館10階に新たな教育施設が誕生しました。今回はこの施設を紹介致します。

本施設は2023年9月から2023年3月まで整備が行われ、その後備置品の運び込みを行い、現在は本格運用開始準備が進められています。

または本施設の整備目的です。

(1) 医療系学部(医学部・看護医療学部)および薬学部ならびに健康マネジメント研究がコアとなる。交流を深め、合同教育を行うことにより俯瞰的視野を持った総合的な医療人を育成する環境を実現する。

(2) 新しい時代の教育に対応可能なハイブリッドオンライン教育設備の充実ならびに医療系で重要視される高画質の講義動画が収録できるスタジオを整備する。

(3) 新しい医療教育に資する第2クリニカルシミュレーションラボを整備する。

(4) 協生環境推進に配慮した教育環境を実現する。

(5) 不足している教室数の改善ならびに老朽化している教育環境を改善する。

この目的を実現するため、2号館10階の約1200平米の整備が行われました。こはかつて10N棟であった10階の北側と東側のエリアになり



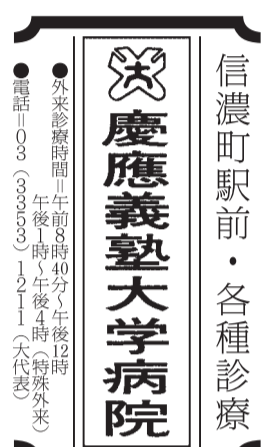
講義室



発行所
三四会医学部新聞編集室
〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
電話(3353)1211 内線64996
会員については会費を
会費に購読料が含まれ
発行人 武田純三
毎月1回20日発行



三四会ホームページ



信濃町駅前・各種診療

是非目を向けていただきたいと思います。

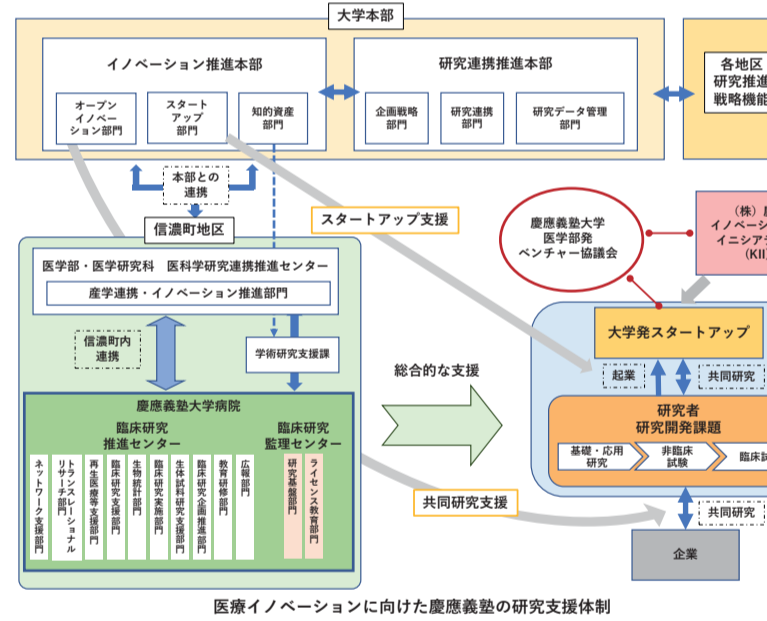
施設の主機能は、第2クリニカルシミュレーションラボ、講義室2室、教員室、会議室、スタジオ、女性専用休憩室です。もう少し詳しく機能を見てみましょう。

■2クリニカルシミュレーションラボは、現在東校舎に1階にある2クリニカルシミュレーションラボを拡張し、ベッドを8床備えた大型の実習室と病室を模した実習室、外来を模した実習室、サテライトファーマシーを模した実習室があります。病室を模した実習室の床は、隣接する講義室において多人数でモニターすることが可能です。今後、医療系教育で拡大されるOSCEに対応した実習室など使用できます。

■講義室は、主に看護

この新聞に掲載される三四会の先生方の研究成果のうち、実用化に近いものがあるのではなかろうか。そのうち、平成29年に連載された「イノベーション」の流し、慶應義塾ベンチャーの5年以上の歳月が経った今、慶應義塾ベンチャーは、どこまで来ているのでしょうか。

この数年はCOVID-19の流行に加え、ロシアのウクライナへの侵襲等の社会情勢により、ベンチャー企業にとって厳しい状況であったのは間違いなく、慶應義塾ベンチャーも例外ではありません。慶應義塾ベンチャーは、2016年に医療系上院の臨床研究センターとして、厚生労働省に承認され、厚労省から「スタートアップ」の認定を受け、5年4月未現(15)期、つまり開発初期の段階で、一連の工程を病院機能も含めて支援できるように体制を整えています。この体制により、この



医療イノベーションに向けた慶應義塾の研究支援体制

イノベーションの行方

イノベーションと橋渡し研究

許斐 健二(73回)

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

この橋渡し研究が、慶應義塾ベンチャー企業にどのような役割を果たすのか、今後社中一丸となって、我が国のイノベーションの推進に貢献していくことが期待されます。

新しい会員情報管理システム (三四会マイページ)のご案内

令和5年4月より、新しい会員サービスをインターネット上ではじめました。信濃町キャンパスの研究を紹介するオリジナル動画と、医学部新聞(全面)をご覧いただけます。電子掲示板を使えば、同級生、支部の会員と情報交換ができるようになります。なお、個人情報に配慮し、他人の自宅・勤務先、電話番号、Eメールアドレスを検索できない仕様になりました。4月初めにEメールと郵便で、初回ログインに必要なIDとパスワードをお送りしましたので、必ず初回ログインを行い、ご自分の住所等の情報に誤りがないかの確認をお願いします。同窓会の発展のため、「初回ログイン」を是非お願い致します。(担当理事/血液内科 宮川義隆 70回)

	従来	新システム (令和5年4月以降)
会員相互の連絡	電話、郵便	電子掲示板(卒業回数、支部)
自宅・勤務先の変更	メール、FAX、会員名簿アンケート(3年毎)	会員マイページ(各自随時)、会員名簿アンケート(3年毎)
医学部新聞	1面のみ	全面
オリジナル動画	なし	会員のみ閲覧可
会費のお支払い	郵便局、コンビニエンスストア、電子マネー	クレジットカード、郵便局

令和5年度三四会評議員会開催のお知らせ

会則20条に則り、次のように開催します。

記
日時：6月17日(土)午後3時~5時
場所：2号館11階 大会議室

本評議員会は総会に代わるもので、(会則18条)、本会の最高意思決定機関です。評議員各位のご出席をお願いいたします。なお、閉会后、情報交換会を開催します。

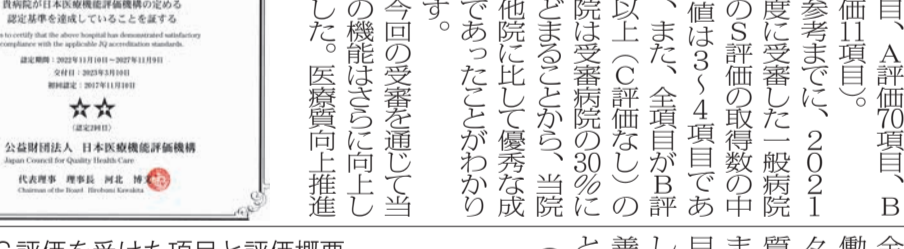
三四会長 武田 純三

第92回北里記念式の挙行について

初代医学部長北里柴三郎先生の92年祭にあたり、医学部と三四会との共催により、下記のとおり北里記念式を執り行うことになりました。三四会の皆様方のご列席の程をお願い申し上げます。

記
日時 6月12日(月)午後1時
会場 北里講堂

医学部長 金井 隆典
三四会長 武田 純三



S評価を受けた項目と評価概要

項目	講評の概要
診療情報提供・患者参加促進	様々な情報共有の機会があり患者の利用も活発である。特にMeDaCaの活用、SkIPによる患者参画の機会など、他院のモデルとなる。
倫理的課題	外部委員も含む多職種からなる臨床倫理委員会と、臨床倫理コンサルティングチームが迅速に機能しており、患者・家族・職員の納得する結果に繋がり、卓越した取り組みを展開している。
業務改善	医療質向上推進委員会を発足させ、ダイバーシティなどの下部のワークグループが機能し、各種成果を出している。外部評価としてのアドバイザ/Alホスピタル事業への参画など業務の質改善に向けた取り組みが高く評価される。
多職種協働	多職種による各種チームの積極的活動はチーム医療のモデルとなる。
外来診療	3000人超の外来患者に対しては、ハード、ソフト、ITを駆使し、待ち時間短縮、患者サービス向上に継続的に取り組み、成果につながっている。
投薬・注射	薬剤師による持参薬管理、ポリファーマシー対策、がん化学療法前処方の処方監査、インスリン製剤の全共同のアップデート、看護師による6Rの徹底、全患者に服薬確認の実施など、総じて高く評価。
輸血管理機能	豊富な人材を活かした、オーダー時の適応を含めた問い合わせ、払い出し後の全列監視、オーダーレビューによる必要最低限の在庫などが高く評価される。
病院幹部のリーダーシップ	院長によるビデオメッセージ、意見交換会、院内イベント、幹部への明確な役割付与とその活動の実態など、良好なガバナンスが構築されている。

病院機能評価の認定を受けました!

2023年3月10日付で、日本医療機能評価機構による病院機能評価(一般病院)の認定を受けました。一般病院3が認定されたのは、当院が初めてです。2021年2月から病院機能評価受審委員会が立ち上げられ、準備を進め、今年度(令和5年度)に認定されました。2021年2月から病院機能評価受審委員会が立ち上げられ、準備を進め、今年度(令和5年度)に認定されました。2021年2月から病院機能評価受審委員会が立ち上げられ、準備を進め、今年度(令和5年度)に認定されました。



病院執行部および病院機能評価受審委員会(医師メンバー)

母や祖母の時代と違い、女性性解放が動きやすくなった。医学部でも学生に数多い時代から、今では制度面で女性性が求められるようになった。しかし、三つ路を迎えた今、ともに卒業した仲間それぞれが現場で子育ての両立に苦しんでいるように見える。出産後の復職はできるが、時間の制限があるため、キャリアを進めるスピードは落ちてしまっている。その間に、第三子を生み出す子育ての充実感を覚えず、キャリアアップから身を引く人も出てくるのである。

一時期は育児、仕事も医職が主体。リモートでできる仕事は限られていた。女性が仕事のスリットを緩めるという判断に至るのには仕方ない一周も出るとも思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。

大岡会系 96回

働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。

働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。

働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。働き方改革も思っているように見える。